

中学生まるびい アートスクール 展覧会「魔法のごはん」 開催(1/4~1/14)



本展覧会は、2017年10月から11月にかけて、金沢市内2校の中学校美術部員44名が、現代美術作家の椿昇さんや、アートディレクターのシロくま先生、建築家の家成俊勝さんと一緒に行った「考え方を考える」ワークショップで制作した作品を紹介します。

ワークショップのテーマは「魔法のごはん」。種子である穀物を食べるために人類がいかに苦勞してきたかを石臼をひくことで体験したり、食べ物を採った後に残る稲わらや竹などを素材に住みかをつくってみたり。昨日の晩ごはんから、種子

を取り巻く世界の情勢まで想像を巡らせました。また、人間の食の歴史を遺伝子学的な視点からひもとく佐藤洋一郎先生とアートスクール講師とが、食とアートをめぐってこたつを囲んでお話しする公開座談会も開催します。

中学生のやわらかい発想力で制作された作品の数々をご覧くださいましたら幸いです。

この機会をぜひご利用いただき、貴メディアにてご取材をお願い申し上げます。

展覧会名 中学生まるびいアートスクール 「魔法のごはん」
会期 2018年1月4日(木)- 14日(日)
会場 金沢21世紀美術館 キッズスタジオ
料金 入場無料
主催 金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団]
共催 金沢市中学校文化連盟
後援 金沢市教育委員会
協力 旬菜焼はざま(稲わら提供)、竹本茂之(竹本工業/粘土提供)
お問合せ 金沢21世紀美術館 交流課 TEL 076-220-2811



「魔法のごはん」ワークショップ風景
2017年11月4日「ごはんの後」

関連トークイベント

こたつ座談会「種子を育てて1万年!? ~農学と美術で考える、食べ物と身体」

人間の食の歴史を遺伝子学的な視点からひもとく佐藤洋一郎先生とアートスクール講師とが、食とアートをめぐってこたつを囲んでお話しします。ちょっと難しいサイエンスのこともアートの視点で楽しくなる公開座談会です。

日時=2018年1月7日(日) 14:00~15:30 (開場 13:45)

場所=金沢21世紀美術館 シアター21

料金=無料

定員=100名(事前予約不要・当日先着)

講師: 佐藤洋一郎(農学者/人間文化研究機構 理事)、椿昇(現代美術作家)、
シロくま先生(アートディレクター)、家成俊勝(建築家)

取材申込み/問合せ先

金沢21世紀美術館 広報担当:川守(広報室) 事業担当:木村(交流課)、山下(学芸課)
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp
※ご取材の際には、事前にご連絡をお願いします。



こたつ座談会 講師プロフィール

佐藤洋一郎(さとうよういちろう)

農学者／人間文化研究機構 理事。

専門は植物遺伝学。主な著書に『食の人類史—ユーラシアの狩猟・採集、農耕、遊牧』(中公新書、2016年)、『稲と米の民族誌 アジアの稲作景観を歩く』(NHKブックス、2016年)、『地球研叢書 食と農の未来—ユーラシア一万年の旅』(昭和堂、2012年)など多数。



椿昇(つばきのぼる)

現代美術作家、京都造形芸術大学教授・美術工芸学科長

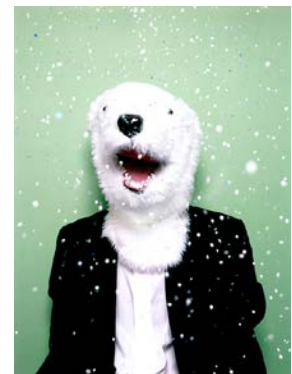
瀬戸内芸術祭の醬+坂手地区ディレクターを始め、数多くのワークショップ設計を手がける。



シロくま先生(しろくませんせい)

アートディレクター、京都造形芸術大学専任講師

京都造形芸術大学のワークショップ授業をけん引するトップファシリテーター。



家成俊勝(いえなりとしかつ)

建築家、京都造形芸術大学准教授

人との協働やリサーチを重ねて建築や場を作り出す建築組織、dot architects (ドット・アーキテクト)の共同主宰。瀬戸内芸術祭や京都国際舞台芸術祭へ参加するなど、多方面で活躍中。

